



令和8年度 余市町立旭中学校 グランドデザイン

【学校教育目標】

- 学び続ける生徒
- 思いやりのある生徒
- やりぬく生徒
- たくましい生徒

【めざす学校像】

生徒一人一人が「夢」や「希望」を語り合える学校

【令和8年度重点目標】

共に学び 共に認め 共に高め合う 生徒の育成

学校全体の取組

【共に学ぶ力を育てる】

- 見通しをもたせる授業づくりの推進
・学習のねらいや流れを明確にし、生徒が自ら学習に取り組める授業（授業のUD）を全校で進める
- 学び合い・協働的な学習の充実
・ペア・グループ活動、交流及び共同学習を通して、生徒同士が考えを伝え合い、互いに学びを深める学習活動を取り入れる。
- 振り返りを重視した学習評価の工夫
・学習の成果や過程を振り返る活動を通して、自分の成長を実感し、次の学びへの意欲を持たせる。

【共に認め合う関係づくり】

- 互いの良さを認め合える学級・学校風土づくり
・日常の声掛けや活動を通して、生徒一人一人の努力や成長を認める場面を意図的に設定し、安心して過ごせる学級・学校づくりを進める。
- 交流及び共同学習を通じた多様性の理解
・特別支援学級と通常学級の交流及び共同学習を計画的に位置付け、多様な感じ方・考え方を尊重する態度を育てる。
- チームによる生徒支援体制の充実
・生徒指導委員会・特別支援委員会等を活用し、教職員が連携して生徒の困り感に早期に気づき、適切な支援を行う体制を整える。

【共に高め合う基盤づくり】

- 安全指導・危機管理体制の徹底
・学校生活全般における安全指導を計画的に実施し、危機管理マニュアルの共有と訓練を通して、事故やトラブルの未然防止を図る。
- 心身の健康を支える支援の充実
・養護教諭、スクールカウンセラー等と連携し、生徒の心身の健康状態を把握するとともに、必要に応じた支援を行う。
- 誰もが安心して活動できる環境整備
・特別支援教育の視点を踏まえ、施設・活動内容・行事等において合理的配慮を行い、全ての生徒が安心して学校生活を送れる環境を整える。

『自他共に大切にすることを育てる』ための旭中の『礎（いしずえ）』

- 「心のあるあいさつ」～人とのよりよい関係をつくること
- 「構えのある時間厳守」～時間や期限を守ること、人を尊重すること
- 「感謝のある清掃」～人のために尽くすこと

【「礎」を身に付けることで、旭中生としての自信と誇りを持ち、堂々とした校歌を歌える校風をつくる】

保護者・地域から信頼されつづける学校

- 教職員の「協働」体制を構築することで、「学校としての目標」に向かって「自走」できる職員集団を目指す。（学校における働き方改革の推進＝生徒に対するより効果的な教育活動）
- 学校の取組について、家庭・地域に対して積極的・迅速に情報発信を行う。
- 大川小学校との連携や円滑な接続に配慮した取組を充実させる。
- 「CS」「地域学校協働活動」を活用した地域との連携・協力体制を強化する。